

2023 ~ 2024 年度国際ロータリーのテーマ




世界に希望を生み出そう

## 世界に希望を生み出そう

●会長 中島 祐爾

●幹事 緒方 公一

 No.1847 令和 06 年 01 月 24 日 第 24 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

 ※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email [serc@serc2720.org](mailto:serc@serc2720.org)


### ■点鐘

### ■国歌斉唱「君が代」

### ■ロータリーソング「それでこそロータリー」

(ソングリーダー 古田哲朗)

### ■来訪者紹介 (会長 中島祐爾)

見学 宮國龍乃様 株式会社 オトノヤ



### ■会長の時間 (会長 中島祐爾)

トレーニングからラーニングへ

2023年11月ロータリーの友から国際ロータリー(RI)が学びの手法を「研修(トレーニングからラーニングモデルへ)と変更したことを受けて座談会の内容をロータリーの友に掲載されていました。

座談会の内容を抜粋してトレーニングからラーニングへの移行・違いを話します。

近年学習塾の形式が集団指導から個別指導に変化してきています。集団指導というのは、学校と同じように前に先生がいて、何十人かを対象として指導する方式。個別指導は学習者がまさに主体。その生徒が求めていること、弱点は何かを意識しながら、一人一人対応する形になれば、その生徒にとってかなり効果があるという感じがします。

ロータリーも同じで、セミナーというと、前に講師がいて参加者はそれを聴くだけ、という受け身の体制がずっと続いてきていたので、今回の変更はよい意味で一つのきっかけになるんじゃないかという感じがします。

英語のもとと意味を調べてみると、Trainは訓練する。似た言葉でStudyがありますが、これは勉強する過程を示す言葉です。これに対しLearningは結果を求める学びである。トレーナーがいなくても、結果を求める学びを自発的に行うのが、



最近の職場や学校でも採用されてきているように思われます。今、会社の従業員でも特にミレニアム世代とかZ世代とか呼ばれる人がそうです。

ミレニアム世代⇒1980年代序盤から90年代後半までに生まれた、パソコンやインターネットのある環境で育った最初の世代。ジェネレーションYともいう。

Z世代⇒1990年代終盤から2010年代序盤までに生まれた、ミレニアム世代の次の世代。生まれた時からネットが利用可能であった世代。

この世代は、講師やトレーナーが一方向的に話し、それを受け入れるというよりは、ディスカッションをしながら物事を言語化し、決めていく。そういった流れがある。それがロータリーにも普及してきているという気がします。

トレーニングには二つの大きなポイントがあって、一つは知識・情報の豊かな人が、そうでない人にしっかりと指導をする。もう一つは教える人が聞く人に対して、その人の心にインスパイアする。(刺激する・動機付ける)

これに対しラーニングは、学ぶ側の気づきが最優先です。お互いディスカッションし情報交換・アイデアを交換し学ということ。ロータリーがトレーニングからラーニングへ変わったとなると、いかにもトレーニングは古臭くて駄目だ、という発想になりがちですが、トレーニングにもいいところがあるから、それとラーニングを併用していけば、より学習効果が上がります。

ロータリーの言葉でよく皆さんも耳にする

「入りて学び、出でて奉仕せよ (Enter to learn, Go forth to serve)」という言葉があります。「例会やクラブの事業に参加し学び、そして外に出て奉仕しましょう」この言葉には元々Learnという単語が使われています。しかしクラブで実際にラーニングする機会があったかという、そうでもないと思います。

これからはクラブ協議会やクラブフォーラム、その他に機会でも活発な意見交換を交わし、楽しい良いクラブへなるようにラーニングしていきましょう。

### ■幹事報告 (幹事 緒方公一)

#### ■来信案内

1)

国際ロータリー第2800地区より、全国代表者会議並びに

第36回全国ローターアクト研修会山形大会本登録の案内。

日時 2024年3月23日(土)~24日(日)2日間

場所 研修会 山形テルサ、懇親会 ホテルメトロポリタン山形



■クラブより

- 1) 第7回定例理事会報告。
- 2) 本日例会後に、第2回臨時理事会を開催いたします。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

■今後の地区行事

2024	1月27日(土)	補助金管理セミナー	熊本県 益城郡益城町	益城町文化会館
	前田日出夫、中島祐爾			
	2月24日(土)	RLI 卒後コース	大分県日田市	AOSE
	案内中			
2024	3月2日(土)～ 3日(日)	会長エレクト研修セミナー	熊本県熊本市	熊本城ホール、 ホテル日航熊本
	山田公也、前田日出夫、古田哲朗			
2024	3月2日(土)	中津 RC 創立 70 周年記 念式典・祝賀会	大分県中津市	ヴィラルーチェ
	案内中			

■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当委員 潮谷愛一)

少子化はなぜ起こるのか

(同居) 80歳 親 と 50歳 子

2024年 1月1日

少子化 (1980年) 150万人生 → 今、79万人生			
虐待	いじめ	不登校	ひきこもり
21万人	61万人	30万人	14歳～64歳 146万人
50歳以上未婚		男) 1980年 2.6% 今、28.25%	女) 1980年 4.45% 今、17.81%
1965年	S40	出生	そい寝・おんぶ抱っこは不要と国は 指導した(20年間)
1980年	S55	中3	校内暴力
1984年	S59	大1	新人類
2000年	H12	35歳	モンスターペアレント
2020年	R2	55歳	クレーマー・アンガーマネジメント

かわいがられなかった経験は、自立がむずかしい。

■委員会報告

(親睦・スマイル担当 松岡泰光)

1. 40周年記念祭式典の会場視察と式典メニュー試食について  
2月2日の参加者募集
2. 約束の日について  
2月14日開催、ボーリング大会  
詳しくはグループLINEなどで周知



■委員会報告

(職業奉仕担当 古田哲朗)

1月31日の職場訪問について  
(駐車場の件、ジェーンズ取こは暖房がない)



■出席報告

(出席・プログラム担当 生駒ちあき)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
01月05日	42 (免4) 38	26	1	27	71.05
01月24日	42 (免4) 38	32 Zoom 2			84.21

☆出席免除

01月05日  
住江正治 島村徹男 志賀重人 永野昭一  
01月24日  
住江正治 島村徹男 志賀重人 永野昭一



☆欠席者

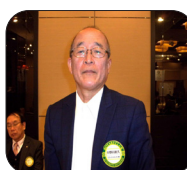
01月05日(11名)  
出先教明、井村宣敏、川崎直樹、松尾 浩、小野川善久、  
潮谷愛一、堤 勝也、武末直大、山本浩之、山坂哲生

■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 小竹 誠)



◎鈴木義親 10,000円  
市域RC新春合同例会  
の二次会以降6件のノルマで久し振りに10時間  
以上の飲み会でした。大変失礼致しました。また  
先週は例会日時を間違ひまして失礼いたしました。  
新年度早々の失策をお許し下さい。



◎小野川善久 10,000円  
寒さが超体にこたえる年齢になって外に出る事が  
とてもおっくうです。今では外に出るのは子どもの  
送迎のみか朝のウォーキングのみです。情けない  
といえば情けないですねえ！！



◎宮川義行 5,000円  
昨日、今日と雪がちらついて冷え込んでいます。  
皆さん、風邪をひかないように気をつけて下さい。  
高速も通行止めの所がでてます。運転もお互い  
気をつけましょう。本日は古田会員の職業奉仕の  
卓話、楽しみにしています。よろしくお願ひします。



◎出先教明 5,000円  
今年もよろしくお願ひいたします。



◎西田智史 2,000 円

本日は友人の宮國さんを連れて来ました。是非一緒に活動出来るようになります。よろしくお願いいたします。

## ■職業奉仕委員会卓話

(地区職業奉仕部門長 古田哲朗)



「ロータリーの職業奉仕」

ロータリー職業奉仕

2023-24年度  
古田哲朗

## 本日のセミナー内容

- ①今年度の職業奉仕の**方針**を確認
- ②職業奉仕の**歴史**を簡単におさらい
- ③**過去**の職業奉仕セミナーの内容を確認
- ④職業奉仕の**原点**を検討
- ⑤4つのテストの「**真実**とはなにか」
- ⑥まとめ

### ①今年度の職業奉仕の方針

職業奉仕の**実践**を具体的に考えてみる

今まで、職業奉仕が地区で取り組んできたセミナーの内容を振り返り、職業奉仕が金看板と言われている理由を再度確認します。そして、職業奉仕とは何なのかをさらに考察し、職業奉仕の実践に向けて、何をすればよいのかを検討します。

各自が**ロータリーストーリー**を作成しつつ

【ロータリーの原点回帰と未来変革】

を実現します。

### ①今年度の職業奉仕の方針

**ロータリーストーリー**とは？

ロータリーと関わって、**良い体験**をした等の簡単な**小話**

例えば：国際大会に参加した等

ロータリアンの各自がロータリーストーリーを**楽しそう**に語ることで、ロータリーの**魅力**が対内的、対外的に広まるのではなからうか。

## ②職業奉仕の歴史

- 1898年 アメリカがハワイを併合
- 1904年 ニューヨークで婦人参政権を求めるデモ
- 1905年 ロータリー**誕生** (当初の目的は利己的)
- 1906年 ドナルド・カーター事件 (**奉仕**の概念が芽生える)
- 1907年 **公衆トイレ**の設置 (奉仕の実践)
- 1908年1月 シェルドン入会 (ビジネススクール設立者)
  - 「最も多く奉仕する者、最も多く報いられる」
  - ※**職業奉仕**の誕生
- 1914～18年 第一次世界大戦
- 1920～33年 禁酒法
- 1920年ころから ガンジーが不服従運動
- 1930年代 ハーバード・テラーが「**4つのテスト**」を用いて、経営再建

## ③過去の職業奉仕セミナー

- ① 2018～2019年度：職業奉仕を**考えよう**
- ② 2019～2020年度：ポールハリスは何を言っていたのか  
「ロータリアンとして掲げる**理想と規範**を自分の**同業組合の中に持ち込む**という**責任**を負うこと」 (byポールハリス語録)
- ③ 2020～2021年度：職業奉仕とは何か  
→職業奉仕を**歴史**から学んで**実践**する
- ④ 2021～2022年度は、**経営理念**をピックアップ  
→会員がどのように実践しているかから学びとる
- ⑤ 2022～2023年度は、歴史を踏まえて職業奉仕を**学ぶ**

## ④職業奉仕の原点を検討

【ロータリーの原点回帰と未来変革】

↓

職業奉仕はロータリーの**金看板**と言われる

↓

職業奉仕の**原点**とは何か

↓

どのように原点を**見極める**べきなのか

## ④職業奉仕の原点を検討

「**真実**」とは何か：創設者が直接述べたことよりも、**普遍の原理として代々伝わってきたもの**が真実であることが多い。例えば、**論語**等

↓

職業奉仕として、一番伝わってきたのは「**四つのテスト**」

↓

「四つのテスト」の**原点回帰**にチャレンジしてみる

- ・真実かどうか
- ・みんなに公平か
- ・好意と友情を深めるか
- ・みんなのためになるかどうか

## ⑤ 4つのテストの「真実かどうか」

なぜ、四つもあるのか

なぜ、「真実かどうか」が一番はじめなのか

↓

「真実かどうか」の「真実」を掘り下げてみてはどうか

↓

自らの職業において「真実」としているのは何なのか

## ⑤ 4つのテストの「真実かどうか」

「真実かどうか」が難しい理由

※医者：重篤な患者さんに対し、正式な**病名**を伝えないこともある

※弁護士：刑事弁護において、被告人が「本当は犯罪を犯したのですが、無罪を主張してください」と言われたら**無罪**を主張する

※料理の先生：生徒が頑張って作った料理が少々おいしくなくても「**おいしい**」と言う

## ⑤ 4つのテストの「真実かどうか」

問1：自分が職業で**何を売っているのか**を掘り下げる

※弁護士：心の安全と安心、次に向かっていける**勇気**

※携帯の販売会社：人と人のコミュニケーション、**絆**

※電気ドリルの販売会社：壁にあいた**穴**

## ⑤ 4つのテストの「真実かどうか」

問2：経営理念等で大切に伝わってきたのは何か（自らが職業において**大切にしてきたことは何か**）を掘り下げる

※先代からの経営指針は何か～迷ったら一歩前へ等

※周りからどのような会社とされているか～自らの特徴を理解する

※年輪経営：屋久島の杉はなぜあんなに大きくなったのか

## ⑤ 4つのテストの「真実かどうか」

自分の職業にとって「真実」とは何か

↓

「真実かどうか」のテストで出来る限り判断できるように**準備**しておく

↓

できれば、全従業員が「真実」とは何かを理解して、現場で判断できるように準備しておく～全社に「真実」を浸透させておく

↓

分からないときは**残りの3つのテスト**を使う

## ⑤ 4つのテストの「真実かどうか」

※参考までに

1930年代、四つのテスト

1920年ころ、**ガンジー**の不服従運動がさかんになる

ガンジーの**非暴力・不服従思想**の名称

「**サットィヤーグラハ**」～真理の把握（ガンジーの造語）

「**サットィヤ**」～**真実**、「アグラハ」～堅持

※「**真実**」以外に神はない

※「**真実**」なるものは、私たちが私たちの目で毎日見ている**太陽の光よりも、百万倍も強い**、名状すべからざる**輝き**を持っている

※「**真実**」を実現するただ一つの手段は「**非暴力**」

※あらゆる生命のものを同一視することは「**自己浄化**」なしには不可能

※「自己浄化」の道は険しいが、**非常に伝染しやすい**ので必然的にその人の周囲の浄化になる

## ⑤ 4つのテストの「真実かどうか」

※参考までに

**ガンジー**の職業は**弁護士**（20年くらい）

「**法律家の真の任務**は、離ればなれにかけ違った事件当事者を**結合**させることにあることを悟った」

↓

多数の訴訟事件に**自主的な和解**を講ずることに費やした。

## ⑤ 4つのテストの「真実かどうか」

例えば：知り合いから、休眠している会社を使って、**補助金申請**できますよという誘いがあった場合

例えば：妻が事業とは全く関係がない**タクシーの領収書**を渡してきた場合

例えば：示談交渉の相手から、示談金を実際に受領した日とは**異なる日の記載**を求められた場合

## ⑥ まとめ

「**真実**」が何かを考えることで、四つのテストを使う準備を整える。

四つのテストの「真実かどうか」の「**真実**」を深く考えることで、ロータリーストーリーを作りやすくなる（「ロータリーに入って、自分の職業について考えさせられたよ」等）。

各自が**ロータリーストーリー**を話せることにより、ロータリーがより一層魅力的になり、**会員増強**につながる。

四つのテストを実践しながら、さらに魅力的なロータリーストーリーを作成し、会員増強を通して、ロータリーの**未来変革**へつなげていきましょう。

■点鐘

編集 松尾 浩